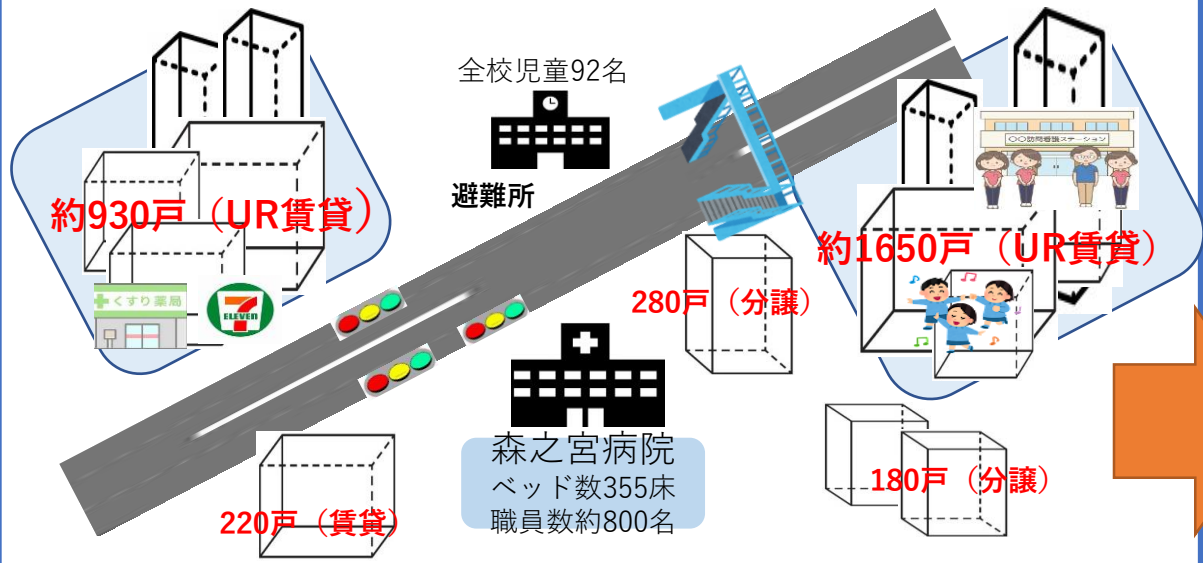


住み慣れた地域で最期まで。安心・安全に暮らせる支援体制の構築。 ～既存の地域支援ネットワーク（SAC）や専門職との連携を、 ICTの活用により発展させ、地域のレジリエンシーを高める～

森之宮地域の特徴～住民・行政・関係機関のネットワーク～

H27年：城東区役所・UR都市機構・森之宮病院の3者が
スマートエイジング・シティの理念を踏まえたまちづくり協定を
締結（SAC）
・以後、**SAC参画機関**（地域活動協議会・社会福祉協議会・地
域包括支援センター・薬局・コンビニ・健康ステーション）と一
緒に孤独死防止に向けたつながりづくり・防災活動を協働中※

- ・3200戸に5000人
- ・複数の団地群
- ・8～25階の高層住宅
- ・単身世帯率51.6%
- ・高齢化率：32.6%
- ・町会加入率34.2%



顕著な課題への対応を要する
平時：対面・ICT双方におけるつながりが希薄。役員の高齢化等による地域活動の限界。
地域内にコンビニ以外の商店なし。
高齢者スマホユーザー38.5%。情報共有の限界（R3年度大阪府福祉基金活用事業調査より）
有事：停電・EV停止時の上下移動を伴う安否確認・救援の限界。

ICTを活用した緩やかな
見守り・健康支援



スマホ等ICTの普及による
平時・有事の情報共有



当地域のノウハウを活用しませんか
医療専門職や
既存のSACネットワークと連携し、
産官学共同実証実験を
想定しやすい地域です

介護先進機器を利用した
モデルルームの更新中
監修：大阪府立大学・
社会医療法人大道会



・ICTを活用した新たなつながりの構築
・住民間交流や支援者・住民間交流の推進
⇒平時＆有事の安心へ

R3年10月～大阪府福祉基金事業
防災イベントを計画中。
ICT関連事業者の参画を求む



2025年には大阪公立大学が地域北部に移転予定。活性化が期待される地域です。

※隔月にSACネットワーク会議を開催中。会議参加やイベントの協働など仲間になってください。
参加者：城東区役所・UR都市機構・森之宮病院・地域活動協議会（住民役員）・城東区社会福祉協議会・城陽地域
包括支援センター・URコミュニティ・森之宮保育園・ハザマ薬局・セブン-イレブンJS森之宮団地店・健康ステー
ションまなぶ（オブザーバー:大阪府立大学・扶桑薬品工業株式会社）

協働してくださる事業者を至急募集しています！